

農 大

令和6（2024）年度版

令和6年11月29日発行
愛知県立農業大学校

だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



施設野菜



CONTENTS

- 1 専攻紹介 施設野菜
- 2 特集
派遣実習にいらっしゃいました！
ようこそ先輩！
- 3 専攻トピックス
- 4 クラブ紹介(写真、農業商人塾、ボードゲーム、手芸)
- 5 トピックス
第2回進路セミナー開催、一般推薦入試を実施、
岡崎市農林業祭に参加、農産物利活用研修開催、
収穫感謝祭
- 6 お知らせ
農大祭

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

施設野菜専攻

施設野菜専攻は、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリを中心に、メロンやスイカ、パプリカなどを栽培しています。施設園芸の未来を担う学生29名（2年生14名、1年生15名）がメンバーです。

ハウス棟数は、栽培ハウス10棟、育苗ハウス1棟の合計11棟で、面積は約40aです。栽培は冬から初夏に収穫する促成栽培が中心で、それぞれのハウスを担当する1、2年生が夏場の苗作りから定植、栽培管理、収穫、出荷、販売まで責任を持って行います。

2020年には統合環境制御装置を導入したICT温室が新たに建てられました。既存ハウスにも炭酸ガス発生機やミスト装置、環境モニタリング装置「あぐりログ」など、現場で普及が進む環境制御技術の導入も進んでいます。

実習の風景



育苗



ほ場整備



防除



定植



出荷調製



生育調査



液肥作り

施設ほ場管理以外にも。。



校外学習



いも掘り



水曜直売



加工演習



新入生歓迎会(BBQ)

トマト・ミニトマト

大玉トマトは養液土耕栽培や隔離培地栽培（ヤシ殻培地、袋培地）で栽培しています。また、統合環境制御を導入した ICT 温室でも栽培を学ぶことができます。

ミニトマトは隔離培地（ヤシ殻培地、袋培地）、水耕栽培で栽培しています。全てのハウスが8～10月に定植し、翌年7月まで収穫する促成長期栽培です。高糖度トマト栽培にも取り組んでおり、農大ブランドとして「旨味のあるトマト」を販売しています。

大玉トマト



接ぎ木

葉かき

ミニトマト



つる下げ

誘引脇芽取り

ホルモン処理

ナス、キュウリ、メロンなど

ナス、キュウリは促成栽培、メロンは夏作です。ナス、キュウリは養液土耕栽培が主体ですが、最近ではメロンの袋培地栽培にも挑戦しています。キュウリの接木、ナスの整枝、メロンの受粉など特徴的な管理作業を学ぶことができます。

キュウリ



ナス



メロン



つる下げ誘引



下葉取り



整枝



その他にも

パプリカ



スイカ



特集

派遣実習にってきました！

本校農学科1年生77名が9月10日から10月18日までの39日間、先進農家でより実践的な技術や経営方法、農家生活を体験する「派遣実習」に行ってきました。

学生達はこの実習を通じて、最前線の農業経営における技術や知識、経営主をはじめ受入先の方々との会話によって農業経営の厳しさや楽しさなど、実に多くのことを学ぶことができました。

鉢物・緑花木専攻
若林 怜輝さん

派遣先 倉橋園芸様
(豊田市)

Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

シンビジウムの山下げ（夏季に避暑のため高冷地に運んで管理していた株を平地に下げること）、芽かきや花茎の支柱立てを行いました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

倉橋園芸さんでは18000株を山下げするので、効率よく体の負担にならないよう作業する方法や、出荷までの動線を考えて効率よく置く方法を学びました。

Q 派遣実習の感想

体力的に大変でしたが一緒に作業して学ぶことが多くあり、また、花き農家はたくさんの方を笑顔にできる仕事であることがわかってよかったです。

切花専攻
鈴木 雅隆さん

派遣先 鈴木 稔雄様(田原市)

Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

キクの蕾取りや収穫、圃場の整備などを重点的に行いました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

キクの生育の仕方や出荷について詳しく学びました。

Q 派遣実習の感想

農家さんのハウスには、とても力強く立派なキクがたくさん育てられていて、大変勉強になりました。

作物専攻
秋田 敬介さん

派遣先 鍋八農産様(弥富市)

Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

実習先では田んぼの管理などを行いました。草刈りの効率的なやり方や稲刈りの助手のやり方などを教えてもらいました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

稲刈りや草刈りなどの技術面だけでなく、仕事をするときの大事な心構えや、後仕事の効率を考えながら作業をすることなど、実際の仕事を体験することでしか学べないことを学びました。

Q 派遣実習の感想

受け入れてくださった農家さんに様々なことを教わり、とても充実した実習になりました。農家さんが工夫していることや大切にしていることを学ぶことができました。今後の農大での実習や将来に活かしていきたいです。

果樹専攻
榎原毅士さん

派遣先 加古フルーツ園様(大府市)

Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

私は梨と桃をメインで栽培している農家さんにお世話になりました。そこで桃の選果・出荷準備や梨の収穫・選果、直売所販売などを行いました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

16種の梨を試食させて頂き、それぞれの食味や特徴、色味などの収穫適期の判断基準を体感し、実際に販売の場に立つことで、お客さんの様々なニーズを学びました。

Q 派遣実習の感想

今夏は異常な暑さとなり「新高」が高温障害で甚大な被害を受け、商品として出す状態判断が難しくなりました。それでも、状況を理解した上で購入して頂けるお客さんや、同じ問題を抱える農家さんとの多くの「つながり」を色濃く感じ、現場での貴重な経験となりました。

露地野菜専攻
村田 魅来さん



派遣先
三浦道行様
(田原市)

- Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？
キャベツの定植、スプリンクラーの設置などの作業をしました。
- Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？
定植機の使い方、キャベツの知識を学びました。
- Q 派遣実習の感想
初めて学校以外の所で農業をしました。知らないことが多くてとても充実した実習になりました。

施設野菜専攻
笠谷 純平さん



派遣先
秋山二允様
(西尾市)

- Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？
毎日キュウリを100本以上収穫し、袋詰め後、直売や近くのスーパーに品出しました。作が終了した株の片付けを暑い中へとへとになりながら行いました。
- Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？
分からないことがあればすぐに周りの人に聞き、行動に移すことが大事であることを学びました。
- Q 派遣実習の感想
キュウリの収穫や定植は初めてでしたが、農家さんが厳しくも優しく教えていただき、とても作業がしやすかったです。派遣実習での経験や学んだことを意識して、今後も農大での実習を頑張っていきたいです。

酪農専攻
平田 慧さん



派遣先 源氏肥育組合様(新城市)

- Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？
主に雌の肥育牛の餌やりや哺乳の手伝いをしていました。全ての牛がしっかり餌を食べられるようにするのが大切と教えていただきました。
- Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？
肥育では調子が悪くなる前の予防が大切なので、その方法を学びました。
- Q 派遣実習の感想
作業時間や作業内容に慣れるまで大変でしたが、やること全てに意味があり全てが牛のためでした。学校でも学んだことを活かしていきたいです。

養豚・養鶏専攻
原田 颯希さん



派遣先 (有)アイナン産業様(美浜町)

- Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？
通常の養鶏管理に加え、採血補助や機械点検修理など養鶏場で不可欠な作業を教えていただきました。
- Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？
作業の正確性やスピードを向上させるための手法を学びました。
- Q 派遣実習の感想
困難な作業が多かったですが、温かく指導をしていただき、多くの技術や社会に出た時の助言もいただき充実した研修でした。



例年、派遣実習を終えた1年生は、自らの行動や言動に自信がみられ、目的意識も明確になってきます。実習中は、至らぬ点もあったかと思いますが、快く本校学生を受け入れていただいた農家の皆さん、関係機関の皆様方の丁寧、熱心な御指導に対して、厚く御礼申し上げます。

ようこそ先輩！



11月8日（金）、農大の学生が実践的な農業経営を学ぶため、各作目の第一線で活躍している先輩農業者8名を講師に招き、「農業の魅力や農業経営について」をテーマに、専攻別懇談会「ようこそ！先輩」を開催しました。

各専攻の卒業生となる先輩農業者からは、農業の魅力ややりがい、効率的で安定的な農業経営など貴重なお話をいただき、多くの学生が改めて農業の魅力を実感し、将来の進路に向けて大変有意義な懇談会となりました。

鉢物・緑花木専攻 加藤 瑞樹さん

刈谷市で観葉植物専門店を経営する加藤瑞樹さんに、小売店から見た花き業界、小売店の経営と顧客との信頼関係、新規に店を始めてからの苦労などについてお話をいただきました。

加藤さんは在学中は目的を持って学んでいたこと、新規開店後の営業の苦労、信頼を積み上げていくことの大切さなどを熱心に話されました。

農大卒業生としてだけでなく人生の先輩としての貴重な話もあり、学生は有意義な時間を過ごすことができました。



切花専攻 小久保 昂さん

卒業後 JA 愛知みなみで勤務し、その後田原市で親元就農して輪ギクを栽培する小久保さんに、実家で実践している栽培技術や経営の考え方などについてお話をいただきました。

講演は、主に学生からの質問に小久保さんが答える形で進行了ました。JAに就職が決まっている学生や、就農を希望している学生などから様々な質問が挙がりましたが、その一つ一つに卒業後の経験を踏まえて丁寧に回答していただき、多くのことを学ぶことができました。



作物専攻 山本 倖也さん

卒業後に株式会社和会営農に就農した山本倖也さんに来ていただき、農業法人に就職したきっかけや仕事の内容、仕事のやりがいや苦労したこと、農大のうちにやっておいた方がいいことなど様々な視点から講演をいただきました。

学生の中には就農希望の学生も多く、質問もいくつか挙がり、とても貴重な経験になったと思います。



果樹専攻 村松 奈菜さん

新城有教館高校で実習助手をしている村松奈菜さんに来ていただき、仕事に対しての考え方や卒業後の進路についてお話ししていただきました。

働いている中でのモチベーションの維持や農大からの就職、その後の転職についての話などが多かったため、学生たちにはあまりピンとは来ていないようでした。今はまだ理解できていなくても働き始めたときにきっと学生の助けとなってくれるのではないかと思います。



露地野菜専攻 岡田 直是さん

卒業後に大口町の服部農園に就職し、その後豊田市で「岡田農園」を開業した岡田直是さんを招き、就農と開業までの経緯や障害者福祉施設との連携、農業経営について講演をしていただきました。

岡田さんは、就農時に気をつけたこと、障害者への指示の出し方の工夫、経営収支の計算方法の話をしていただきました。また、講演の途中で経営収支の計算演習をしていただき学生も大変勉強になった様子でした。



施設野菜専攻 神谷 一喜さん

武豊町にてミニトマトを栽培する「神谷ふぁーむ」の神谷さんを招き、農大卒業後から独立に至った経緯や農業経営における課題、神谷ふぁーむの取り組みなどについて講演していただきました。

まず神谷さんからお話いただいた後、学生からの質問に答えていただきました。学生からは、農家のやりがいや、販路のを見つけ方、価格設定などについて、農大では学ぶことが難しい内容についての質問があり、有意義な時間を過ごすことができました。



酪農専攻 澤田 実季さん

卒業後、額田岡崎支部ヘルパー組合で酪農ヘルパーとして勤務する澤田さんを講師としてお招きしました。ご自身の来歴や酪農ヘルパーという仕事の概要、楽しさや大変さなど、多くのことを教えていただきました。現役の酪農ヘルパーから様々な現場の生の声を聞くのは、特に将来酪農に携わる学生にとって貴重な機会になったと思います。また、農大の先輩として、学生時代の経験談ややっておけばよかったことなども教えていただき、学生にとって興味深い講演でした。



養豚・養鶏専攻 鋤柄 陽太さん

いずれも養豚経営の後継者である鋤柄さんと同級生の星川さんを招き、就農した経緯や今後の経営展開について講演いただきました。

鋤柄さんも星川さんも将来の経営者として従業員が働きやすい経営を目指し、福利厚生の実施や週休3日制の取り組みなど様々な構想をお話していただきました。また、学生には事前に理想的な職場のアンケートを実施し、雇用就農での賃金や休日、職場環境への要望など様々な意見が話し合われて就農に対する具体的なイメージを持つことができました。



専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	6(0)	8(2)	6(1)	13(3)	13(4)	15(2)	11(5)	6(6)	78(23)
2年	6(2)	5(1)	9(2)	15(5)	14(7)	14(3)	15(6)	10(3)	88(29)
計	12(2)	13(3)	15(3)	28(8)	27(11)	29(5)	26(11)	16(9)	166(52)



鉢花・緑花木

全国の花が集まる商談会で感動！

鉢物緑花木専攻の2年生が豊明市にある花き市場で行われた商談会を見学しました。この商談会は、全国の花き生産者がブースを設けて、小売店など買参人に対して自社の生産物を売り込むというものです。花屋やホームセンターでよく見る有名な生産者の商品や珍しい植物が広い会場に陳列されていて、学生は予定時間を超過するぐらい夢中になって見学したり生産者に質問をしたりしていました。12月の農大祭や学生の将来に役立つ貴重な経験となりました。



切花

飾花制作お任せください!!

同窓会90周年記念式典の会場に飾られていた飾花ですが、もちろん切花専攻の学生の作品でございますので制作風景を紹介させていただきます。

今回は、フラワー装飾技能士3級の資格を持った1年生に制作を担当してもらいました。型にとらわれない自由なデザインを得意とする学生だったので、花材選びから制作までほぼ完全に任せてみたところ、あっという間にボリューム満点の飾花が誕生していました。

学生は「適当に作っただけです」と言っていたのですが、花材配置のバランスや葉物の使い方まで実に見事です。しかも、背景のハランにはリボンの装飾までついています。あまりの手際の良さに感心するばかりでした。これは卒業式や入学式の飾花も楽しみです!!





イチゴも色づき始める晩秋

露地野菜専攻では、「章姫」、「紅ほっぺ」、「ゆめのか」、「みくのか」等の促成イチゴを5a程度栽培しています。

今年は9月下旬に高温だったため、花芽分化が遅れた影響で平年より約一週間遅い10月3日の定植になりました。学生達は、今年はいつから収穫を開始できるか心配していました。11月に入り各品種で花が咲き揃い、また、中旬には気の早いイチゴが収穫できるようになりました。学生達は6月以来の赤い果実に大喜びです。

12月からは安定した収穫が見込まれます。農大の直売では様々な品種を購入できます。ぜひ季節の果実を楽しみにきてください。



天敵を使った病害虫防除に挑戦

施設野菜専攻ではトマトやミニトマトを栽培していますが、例年、黄化葉巻病の発病に苦しめられています。黄化葉巻病はコナジラミ類が媒介して発病するため、農薬散布や黄色粘着板等によって対策を講じていますが発生を抑えきることが難しくなっています。

そのため、今作からコナジラミ類の天敵であるタバコカスミカメを導入することに決め、天敵を増殖させる温存植物であるクレオメを定植しました。

減農薬を目指した農業についても学生のプロジェクト活動の一つとして取り組んでいきます。今後のプロジェクト活動の成果が楽しみです。



加工演習で米粉の加工を学ぶ!!

作物専攻では、2年生の加工演習として米粉の加工について学びました。米粉を使ったチーズケーキやドーナツ、もち米の米粉からうどんを作成し、試食しました。スイーツはとてもおいしく、米粉ならではのもちもちとした食感が特徴的でした。ただ、うどんについては不評であり、もう少し改良が必要かも…。ドーナツはさまざまなもち米粉を使って作り、種類による食感の違いなども学ぶことができました。





おいしいジャム作り

果樹専攻では、毎年加工演習でジャムを作成しています。本校で収穫した果物を使用していますが、品質が必ずしも一定ではないため糖度や酸度に違いが出てきます。それを学生たちが加工する際に砂糖の量などを細かく調整しながら同じ品質になるように丁寧に作っています。

加工演習で作られたジャムは農大祭で販売予定です。今年はウメ、モモ、アンズ、イチジク、カキの5種類あるのでぜひ購入してみてください。



第44回愛知県ホルスタイン共進会に出品しました

11月10日に開催された第44回愛知県ホルスタイン共進会に出品しました。この共進会は、改良増進の成果を比較検討し、今後の改良に資する意欲を喚起するとともに酪農の健全な発展を期することを目的として毎年開催されており、今年は県内から40頭の出品がありました。

本校からは未經産牛2頭を出品し、第4部2等賞及び第5部1等賞1席という結果になりました。酪農家の出品する牛には敵いませんが、本番に向けて毛刈りや調教等の管理を行ってきたことや、本番で酪農家の出品した様々な牛を見たことは良い経験になりました。今後も継続的に出品していきたいと思えます。



校外学習で液卵工場と大規模養豚場に行ってきました

液卵工場へは毎日何万個という鶏卵が入荷され、最大1300個/分を割卵する高速割卵機により一瞬で卵黄と卵白が分離され、目にもとまらぬ早さで処理されていました。工場内は、オゾンのエアシャワー、手指を消毒しなければ開かないドア、タイマーによる手洗い管理など徹底した衛生管理がなされていました。

大規模養豚場では、自分で生産したものは自分で価格決定したいという思いから、生産だけでなく、食肉処理施設や販売場を自ら建設し、六次産業化に取り組んでいました。経営者からは「一次産業は食料を生産しているという強みがあり利益確保は安定している。未来は明るい。」という力強い言葉を頂き非常に頼もしく感じました。



※ 各専攻の様子は、農大のインスタグラム、X(旧ツイッター)で情報発信しています。

学生紹介

学生クラブ紹介

写真部

- 部員数 11名
活動日時 不定期随時
活動場所 学校行事（体育祭、東近学生
スポーツ大会、収穫感謝祭、
農大祭等）



学校行事の写真撮影が主な活動です！撮った写真は農大だよりや学校の SNS に載ることもあります。

一眼のカメラを持っていなくても部活で貸し出しがあります。写真を撮るのが好きな人はぜひ写真部へ来てください。

農業商人塾

- 部員数 8名
活動日時 水曜日
18:00～20:00
活動場所 大教室



農産物流通に関する有識者を講師として招き、その手法を参考に、自らが考える新たな農産物流通の形を考える活動を行っています。農業の抱える課題に対して、私たちは新たな創造をし、改善に向けて取り組みます。農業はおもしろい。明るい未来がある！

学生クラブ紹介

ボードゲーム部

部員数 8名
活動日時 毎週木曜日
18:00～20:30
活動場所 教室棟第2教室



トランプゲームや UNO など様々なゲームを使って、みんなで協力したり駆け引きしたりして時間を忘れて楽しんでいます！他にも面白いゲームがいろいろありますので、ぜひ一緒に楽しんで交流を深めましょう！

手芸部

部員数 3名
活動日時 不定期 17:00～
活動場所 寮内



手芸部は今年新しくできたばかりの部活です！まだ活動を始めたばかりですが、部員みんなで力を合わせて頑張っています。

今年の農大祭では、手作りのぬいぐるみを中心とした販売と、ワークショップでぬいぐるみ作りを体験できますので、興味のある方はぜひ気軽にお立ち寄りください！

一緒に楽しく活動できる仲間も募集中です！

トピックス

第2回進路セミナーを開催しました

10月28日(月)に1年生全員を対象に第2回進路セミナーを開催しました。

第2回は「就職活動の進め方」と題して(株)インテルプレスの桑野美英氏を講師にお迎えしました。桑野先生には2年生の就職支援にも御協力いただいておりますが、今回は1年生の就職活動への意識付けを図るために講義をお願いしました。

就活の基本的な流れや考え方についての講義の他、ワークの時間が設けられ、学生は自己PRやこれまでの経験の掘り起こしのため、自分自身について考えを巡らせ、これまでの経験などについて振り返り、ワークシートへ書き込む姿が見られました。

進路セミナーは、今後3回、12、1、2月に開催を予定しています。



一般推薦入学試験を行いました

11月1日(金)に行われた令和7年度入学一般推薦入学試験では、49名の応募がありました。11月13日(水)に合格発表を行いました。9月30日(月)に実施した農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験合格者を合わせ、64名が推薦入学試験に合格しました。

専攻別では、露地野菜専攻、酪農専攻、作物専攻に多くの希望が集中しました。

今後、一般入学試験が、12月10日(火)に行われます。

一般入学試験は県内外高校生を始め、広く社会人までの受験が可能となり、倍率も上がる事が予想されます。農業に熱い思いを持った受験生の応募を期待します。

岡崎市農林業祭に参加しました

11月3日(日)、岡崎市の乙川右岸河川敷で行われた岡崎市農林業祭に出展しました。当日は多くの生産者や関係機関の参加がありました。農大のブースは、日ごろの専攻実習で生産した野菜を販売しました。

前日の大雨からうって変わり当日は天候に恵まれ、新鮮な農産物をお値打ちに販売するだけでなく、野菜栽培に関することや農産物の美味しい食べ方を説明するなど、市民との交流を深めることができました。



農産物利活用研修を開催しました

11月6日(水)、農産物利活用研修を開催し、あいち農業経営塾の受講生を含む24名が参加しました。講師はオフィス・HANDOの代表 寺田久美氏で、「農業のマーケティングと6次産業化」と題して講演をいただきました。

寺田先生は、顧客にとっての価値を創造し、それを伝えることの重要性や価格設定及びプロモーションの仕方について具体的に話をされました。

受講者から「マーケットインの考え方を知った。」「どうアピールすれば顧客を引きつけることができるか考えるきっかけになった。」「商品開発や今後の販売に役立てたい。」との感想が寄せられ、有意義な研修となりました。



収穫に感謝！ ～収穫感謝祭を開催しました～

11月8日(金)、「ようこそ先輩」にてお招きした本校を卒業した先輩の皆さんにも御参加いただき、収穫感謝祭を開催しました。

穏やかな天候に恵まれ、学生が丹精込めて育てた野菜や新米を、今年もたくさん収穫できた感謝を込めて美味しくいただきました。

しかし、BBQの主役はお肉！たくさん食べてみんなお腹一杯でした。

楽しさいっぱいの収穫感謝祭でした。





<注意事項>

1 開催日時：2024年12月7日（土）午前9時から午後1時まで

2 受付・入場：午前8時30分から

3 環境に配慮してレジ袋は配布しませんので、エコバッグ等をご持参ください。

4 荒天等の場合は、中止や内容変更の場合があります。農業大学校 HP をご確認の上、お出かけください。

5 基本的な感染症対策の徹底をお願いします。体調の悪い方は、ご来場をお控えください。